

下関で「西都の雫」産地交流会を開催

下関で「西都の雫」産地交流会を開催しました。

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 9 月 14 日 | 下関農林事務所農業部

8月31日に下関市豊田町において、豊田「西都の雫」生産部会（福本信亮部会長）と山口県酒造協同組合との関係強化を目的に交流会が開催されました。

「西都の雫」は酒造好適米として育成された山口県オリジナル品種で、「淡麗でキレのあるお酒ができる」と評判で、純米・吟醸酒などに幅広く利用されています。

当日は、生産者、酒造関係者及び JA 下関等の関係者計 39 名が出席しました。

最初に福本部会長のほ場を全員で視察し、部会長と下関農林事務所農業部の担当者から今年度の栽培管理状況について説明があり、西都の雫の生育が順調であることが確認されました。

その後室内に戻り、生産者と酒造関係者との間で、「等級の高い米は大吟醸に使う蔵元が多い」、「山田錦とは異なり、西都の雫を使うと“すっきりした味わい”に仕上がる」等、酒造りに関する活発な意見交換が行われました。

豊田「西都の雫」生産部会は実需者の期待に応えられる様、酒米「西都の雫」の安定生産と品質向上へ向け、今後も更なる研修や視察を予定しています。

（下関農林事務所農業部 川野祐輔）



意見交換会



部会長圃場を視察する参加者

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206